

実施日	視察先	視 察 項 目	備 考
4月27日	奈良県 奈良市	奈良市子どもセンターについて	
4月28日	京都府 京都市	小中一貫教育について	

視察先	項 目	調査内容
奈良市	奈良市子どもセンターについて	<p>奈良市子どもセンターは、約5年程の準備期間を経て、開所となった複合施設である。様々な機能を有し、色々な観点から子供や子育て世代を支援している。</p> <p>当センターにおける5つの機能として、遊び場や子育て関連の情報提供などを行う「地域子育て支援センター」、屋内外での遊具・広場などを有する「キッズスペース」、就学前の子どもの発達に関する相談などを行う「子どもの発達相談」、すべての子どもとその家庭を対象として相談全般から専門的支援を行う「子ども家庭総合支援拠点」、一時保護や虐待対応などを行う「児童相談所」、以上の機能がある。</p> <p>センター開所から現在までで、当センターに寄せられている評価等について、一般市民からはキッズスペースなどの遊び場があり満足・リピートしている、といった声、一部議員からは人材確保について心配する声などがあがっており、実際に職務にあたる児童相談所の職員からは、業務効率・スピードなどが上がったといった自己評価が得られている、とのことだった。</p> <p>今後の課題等については、主に、人材を</p>

		いかに確保・育成していくかといった部分を捉え、対応を考えているようであった。
京都市	小中一貫教育について	<p>京都市は、「小中一貫教育特区」として国から認定されている。主な目的として、「中1ギャップの解消」や、子供たちの個々の成長等に合わせた対応、などが挙げられている。</p> <p>小中一貫教育の5つの視点として、「小中一貫教育目標としての『こどもたちの生きる力の育成』」、「教育課程・指導形態の工夫・改善」、「教育活動の連続性」、「教職員間の連携・協働」、「家庭・地域との連携・協力」、以上5点を挙げていた。</p> <p>市内の市立小中学校に成果を確認したところ、子供たちや教職員などの各種課題について改善効果があったようである。</p> <p>今度の課題として、「小中学校間での打ち合わせ・研修時間の確保」、「義務教育の9年間を見通した学校教育目標設定の徹底」などを挙げていた。</p>